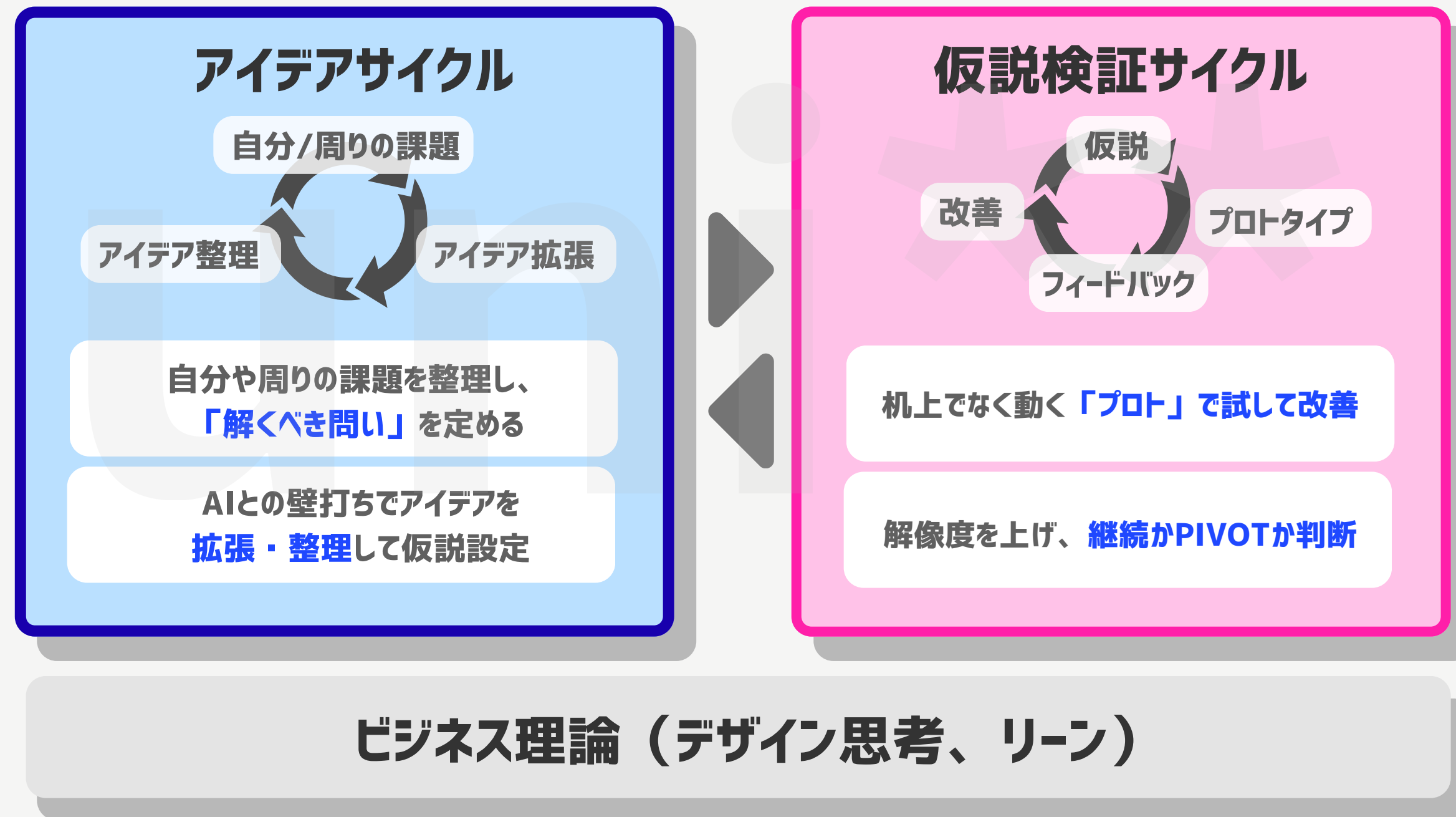


アイデアサイクルとプロトタイプサイクル

生成AIによって、既存の理論実践のハードルを大きく下げる

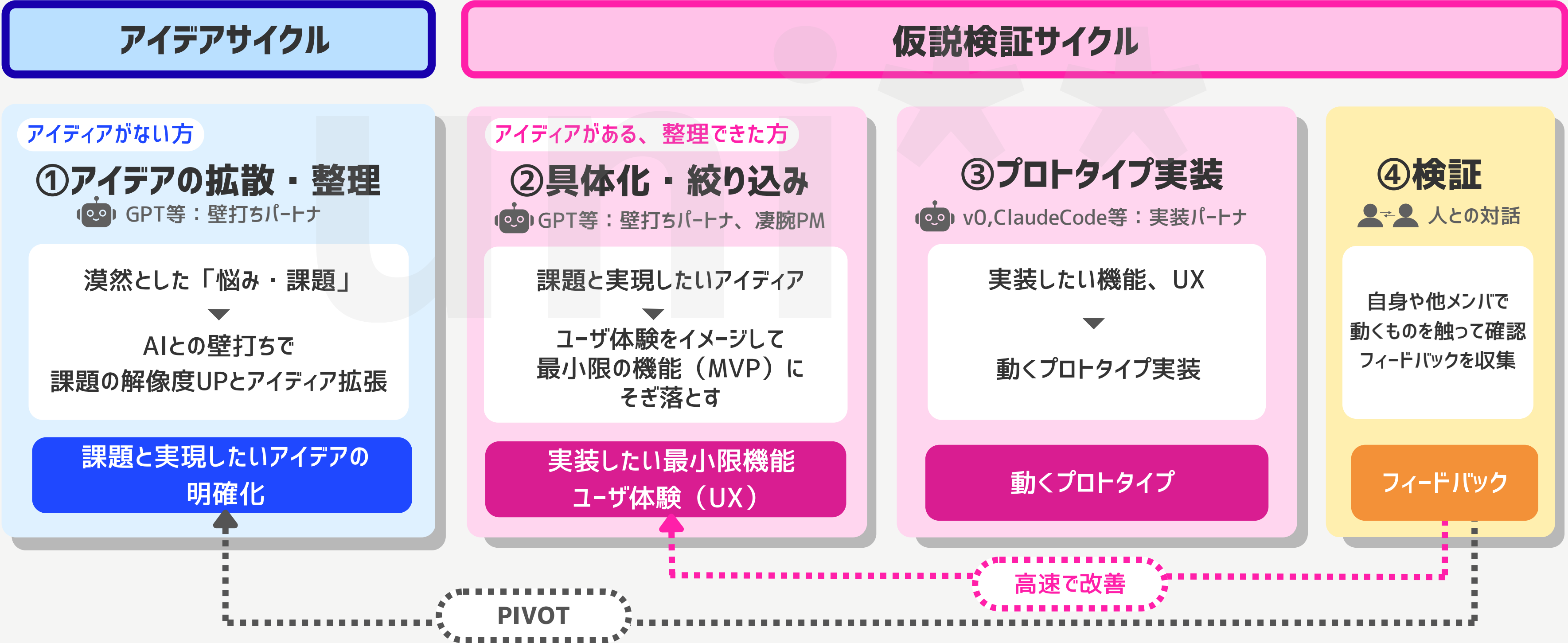


経験豊富なマネジメント層だからこそ、ケイパビリティを判断し具体的な社内適用につなげられる

アイデアサイクルとプロトタイプサイクル

デザイン思考 × リーン × 生成AI の統合プロセス

いきなり作らず、AIと壁打ちして「磨いてから」。「検証」からの「再検討（ループ）」でさらに価値を磨く



アイデアサイクルとプロトタイプサイクルを回すプロンプトレシピ

AIへの指示は「部下へのマネジメント」経験を持つ方が得意です

with  etc.

アイデアサイクル

STEP1 アイデアの拡散・整理 アイデアがない方

あなたの役割

プロの事業開発メンターとして、私の思考の壁打ち相手になってください。
まずは最初にアイデアを提示した後に壁打ちをお願いします。

私の状況

- 挑戦テーマ: { Q1 新規事業 or 業務改革(DX) }
- 現場の課題: { Q3 困りごと (例: 日報が面倒 / 新しい柱がない) }
- 考慮事項 : { ※あれば。既存システム、社内文化などの「現場の文脈」 }

お願いしたいこと

私の悩みを深掘りし、以下の3点を構造化して提示してください。

1. 真の課題 (Why) : 表面的な事象の奥にある原因
2. ターゲット (Who) : 具体的に誰が一番困っているか (N1)
3. 解決策の種 (What) : 課題を解決するアイデア3案

条件: 不足の点はユーザに再度質問として問いかけて精度の高いものに仕上げてください

仮説検証サイクル

STEP2 具体化・絞り込み アイデアがある、STEP1で整理できた方

あなたの役割

凄腕プロダクトマネージャーとして、私のアイデアを「最小限のMVP」に磨き上げてください。
まずは最初にアイデアを提示した後に壁打ちをお願いします。

私のアイデア

- 解決したい課題: { Q3 困りごと }
- 解決策案: { Q2 持っているアイデア or STEP1の出力 }

お願いしたいこと

価値を最大化する「最小限のMVP」を定義し、仕様書として出力してください。

1. 【UX設計】: ユーザーが価値に到達する最短ルートを設計する。
2. 【機能の断捨離】: コア体験に関係ない機能を捨て、必須機能だけを定義する。
3. 【実装要件】: これをv0で実装するための以下要件を満たしたプロンプトに仕上げてください。
要件→別途

条件: 不足の点はユーザに再度質問として問いかけて精度の高いものに仕上げてください

仮説検証サイクルのプロンプト（詳細）

仮説検証サイクル

あなたの役割

凄腕プロダクトマネージャーとして、私のアイデアを「最小限のMVP」に磨き上げてください。
まずは最初にアイデアを提示した後に壁打ちをお願いします。

私のアイデア

- 解決したい課題: { Q3 困りごと }
- 解決策案: { Q2 持っているアイデア or STEP1の出力 }

お願いしたいこと

価値を最大化する「最小限のMVP」を定義し、仕様書として出力してください。

1. 【UX設計】：ユーザーが価値に到達する最短ルートを設計する。
2. 【機能の断捨離】：コア体験に関係ない機能を捨て、必須機能だけを定義する。
3. 【実装要件】：これをv0で実装するための以下要件を満たしたプロンプトに仕上げてください。

要件→別途

条件: 不足の点はユーザに再度質問として問いかけて精度の高いものに仕上げてください

v0プロンプト要件

- 見た目のみのモック（クリック遷移はOK）
- DB接続、API連携、認証、複雑なロジックは禁止
- 表示データはすべてハードコードされたダミーデータ
- 日本語UI

プロダクトの目的（1行）

{ このプロダクトでユーザーが「できるようになること」を1行 }

トーン&コピー方針

画面構成

以下の画面を持つアプリを作成してください。

画面一覧

1. {画面名1} : {目的}
2. {画面名2} : {目的}
3. {画面名3} : {目的}
- ...

各画面のUI仕様

1. {画面名1}

- 主な役割:
- 使用するコンポーネント:
- カード:
- テーブル:
- タイムライン/カンバン:
- 主な操作:
- {ボタン名} → {遷移先}

画面遷移ルール

- {操作} → {遷移先}
- {操作} → {遷移先}

ダミーデータ要件

- 一覧データ: {最低5件}

状態表現

デザイン要件（任意）

- 配色:
- 雰囲気:
- レイアウト:

アイデアサイクルとプロトタイプサイクルを回すプロンプトレシピ

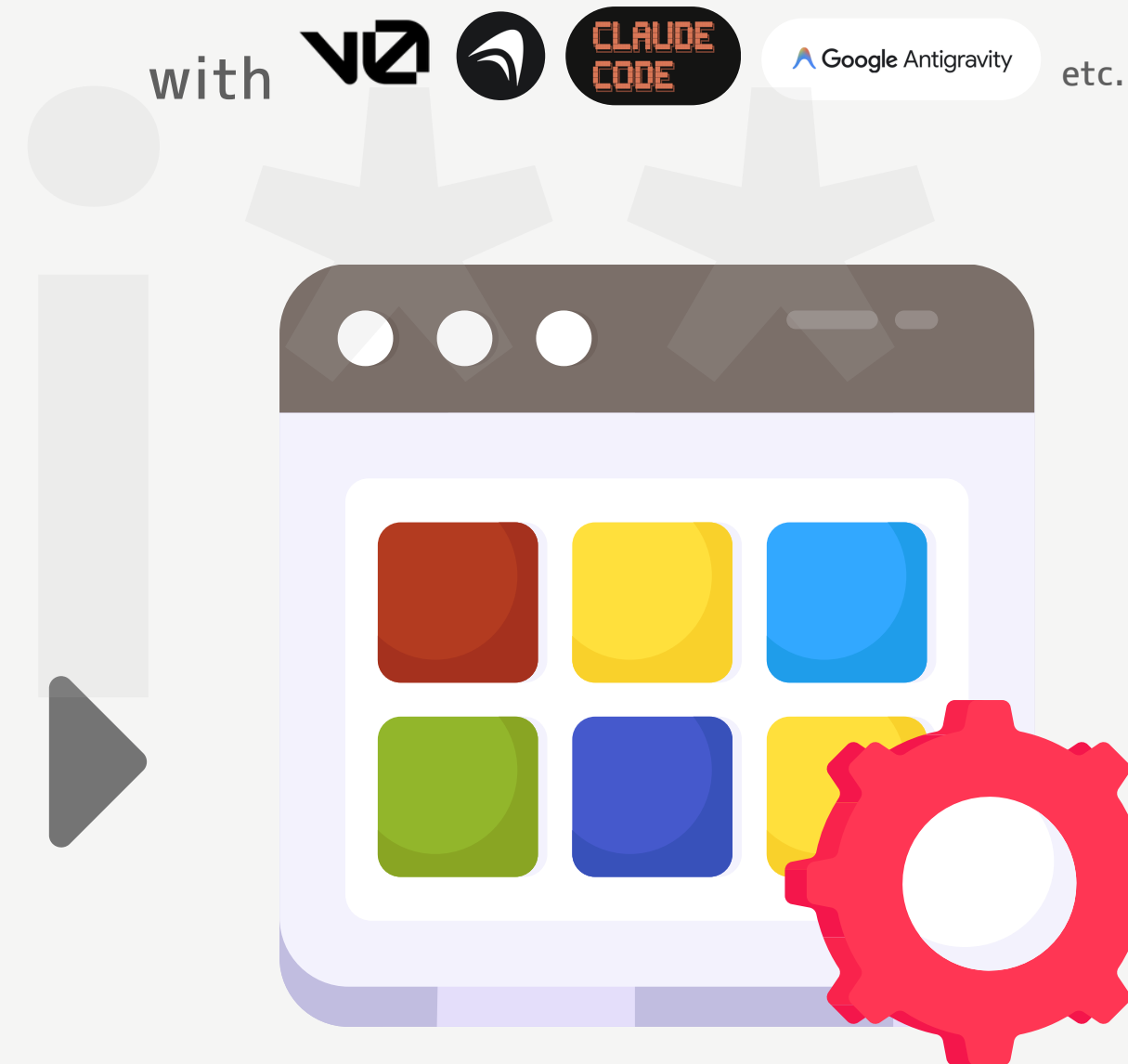
AIへの指示は「**優秀な部下へのマネジメント**」経験を持つ方に向きます

仮説検証サイクル

STEP3 プロトタイプ実装

Step2のv0プロンプトをそのまま張り付けましょう

必要に応じて、
・デザイン
・スマホ/PC対応
・トナリの調整
をこのタイミングで変更しましょう



STEP4 検証



軽微な修正、
必要に応じて公開